

古語は可尋知とあるや青の字はあづとあるや青は白を
さすなり古写本の解
申の白のつぐみとあるとの誤やといふ

ちよれ鈴なりとあるをうは種一みるなりなり

あしとハ尾はひきせしは枚目の毛は名や雪摺とあるとき

くさうつとありしと白毛や故は今足並の毛とも又渡毛

とも云ふのきと鈴^鳴ありとけ種場はある楠柴はありかた

あるは鷹人の種と摺りよとの種あるととあるとや

飛とあるとみえとけ種はきとつむやちねあり

大ねとありととふ少ねハ種ありとと古註よりともは極て